

# 畜産みやぎ

発行所

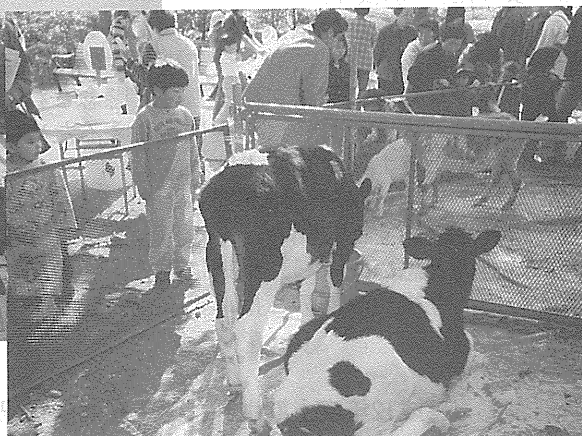
名取市増田字柳田379番地1

法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

印刷所 ㈱東北プリント



ナチュラルチーズフェア (H12. 10. 28~29 勾当台公園)

## も く じ

平成12年度生乳需給状況について…… 2

日本の口蹄疫清浄国復帰の認定について…… 3

ヨーロッパの畜産視察紀行…… 4

「堆肥化施設設計マニュアル」刊行のお知らせ…… 5

モーライフ2000開催報告…… 6

ナチュラルチーズフェア (第14回みやぎ  
ミルクランドフェア) の開催について…… 6

第11全日本ホルスタイン共進会終了について…… 7

平成12年度宮城県総合畜産共進会盛會裡に終了…… 7

第40回仙台牛枝肉共進会終了報告…… 8

「先進で一步前進」…… 8

スーパーデュロック種豚造成のねらいと利用方法…… 9

牛ヨーネ病を再考する!……10

「日々勉強中」……10

みやぎの畜産情報発信基地 宮城県畜産会ホームページ

U R L <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

Eメール [mygchiku@mwnet.or.jp](mailto:mygchiku@mwnet.or.jp)

### 平成12年度生乳需給状況について

#### 宮城県生乳販売農業協同組合連合会

本県の生乳生産量は平成9年度以降、残念ながら毎年前年を下回る傾向にありますが、平成12年度においても、生乳出荷目標を対前年実績比101.45% (175,920 t) で設定した中で、上記までにおける生乳生産実績は、猛暑等の影響に加えて本会の8月1日時点の酪農動向調査結果からも推察できるとおり、結果は84,144 t 対前年比は96.37%で未だ低下傾向から脱し得ない状況にあります。(別表1, 2)

一方、生乳需給においては、生乳生産が前年を下回る中、7月始めには雪印乳業の事故が発生し、当該乳業への配乳済みの需給調整に迫われましたが、全国連を始め乳業各社の協力のもと、好天にも恵まれたこともあり販売不可能乳を発生させることもなく、全量完売することができました。

また、今回の事故による牛乳・乳製品の消費量は横ばいで大きな影響は見られなかったものの、牛乳消費動向が一変し、7月以降は乳飲料と牛乳の伸び率が逆転したことに伴い、生乳使用率が上昇し9月までは、従来にない大幅な生乳が不足する事態が発生しました。(別表3)

その結果、4月から9月の期間中で全般の3ヶ月は飲用向けが前年を下回って推移しておりましたが、飲用飲用消費動向の変化や生産量の減少等により7月以降加工向けが大幅に減り、飲用向けが増加に転じる結果となりました。(別表4)

しかし、生乳生産は依然停滞傾向にあることから今後は、下記の生乳生産に期待したいところですが若干の生産回復があったとしても、今年度の生乳出荷目標数量達成が困難になることが予測され、13年度以降の割り当てにも少なからず影響が出るものと懸念されております。

については、未達数量を最小限に押さえるためにも下記の生乳生産について関係各位の更なるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

加えて、今回の事故に端を発し牛乳・乳製品はもとより食品全体に対する消費者の目は益々、厳しさを増し、我々生乳を供給する立場として再度、基本に立ち返り食品を生産するものとしての責務を改めて認識する必要があります。早期に牛乳・乳製品に対する信頼回復に向けて生乳販売一丸となって頑張ってください。今後一層のご指導とご協力賜りますようお願い申し上げます。

(販売課長 安部 強)

別表1 平成12年度上期生乳計画生産達成状況

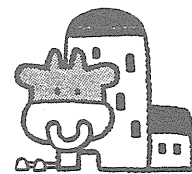
(単位：トン，%)

生産者団体	平成12年度計画生産達成状況			
	受託乳量	前年比	計画比	超過・未達乳量
蔵王酪農	15,176	97.76	96.02	▲ 630
宮城酪農	23,879	94.84	93.97	▲ 1,531
全農宮城	14,781	95.24	95.14	▲ 755
仙台酪農	2,971	97.28	96.08	▲ 121
県酪連	14,525	97.27	96.00	▲ 605
栗原酪農	3,268	95.56	97.57	▲ 81
登米酪農	3,253	96.98	97.25	▲ 92
本吉酪農	2,602	95.18	92.79	▲ 202
遠田酪農	3,061	104.18	100.89	27
山田酪農	628	95.85	96.20	▲ 25
合計	84,144	96.37	95.45	▲ 4,015

別表2 宮城県の酪農動向

項目	平成11年8月1日	平成12年8月1日
生乳出荷戸数	1,175戸	1,128戸
前年比	95.1%	96.0%
乳牛飼養頭数	33,320頭	31,841頭
前年比	96.3%	95.6%
経産牛頭数	24,924頭	23,788頭
前年比	97.9%	95.4%

(本会調べ)



動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤  
**フロントラインスプレー** 新発売

動物用医薬品  
ビタミンE・セレン配合ミネラル飼料増進剤  
**銲塩E100**

東北ゼンヤク株式会社  
〒981-3361 宮城県黒川郡蔵谷町あけの平2丁目31-5  
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

TCMI SUPER SOBLADER  
スーパーボローダー  
世界トップレベルの超低騒音

67dB(A)  
Clear

TCMI 東北ディー・シー・エム株式会社  
本社・工場・仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字茶畑135-1  
TEL (022) 259-6351(F)

肉牛出荷・素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

**ルビックス**  
牛用混合飼料

**S**

アミノ酸・ビタミン・ミネラル強化配合飼料

農協 | 全農 | 経済連

別表3 本県の用途別販売処理量

(単位：トン、%)

	飲用等向け		加工向け		合計	
	処理量	前年比	処理量	前年比	処理量	前年比
平. 12. 4	10,850	97.4	3,979	105.1	14,829	99.3
5	11,290	94.3	3,961	107.7	15,251	97.5
6	11,646	91.3	2,350	109.3	13,996	93.9
7	12,765	103.0	911	40.8	13,676	93.5
8	12,411	101.0	992	70.6	13,403	97.9
9	12,882	98.7	107	23.1	12,989	96.1
合計	71,844	97.6	12,300	89.7	84,144	96.4

別表4 全国の飲用牛乳等生産量

(単位：kl, %)

	牛乳		加工乳		乳飲料	
	生産量	前年比	生産量	前年比	生産量	前年比
平. 11. 10	343,888	96.5	66,814	96.7	115,829	107.8
11	325,037	99.7	60,937	95.4	104,493	109.4
12	311,400	98.3	60,262	95.2	100,076	108.6
平. 12. 1	295,215	97.2	55,864	93.9	95,405	108.7
2	302,741	100.9	54,478	97.1	95,648	114.0
3	304,159	97.4	60,419	96.9	101,970	103.2
4	306,776	97.4	60,297	95.7	102,094	100.2
5	329,562	98.1	63,973	97.9	107,224	101.5
6	330,252	96.2	64,471	97.3	110,407	99.1
7	343,285	102.8	58,114	84.9	105,809	94.2
8	330,167	103.1	55,815	79.8	102,679	88.1
9	356,808	101.2	54,314	78.0	103,002	85.3

資料：農水省牛乳乳製品統計より抜粋

## 日本の口蹄疫清浄国復帰の認定について

### 宮城県産業経済部畜産課

平成12年3月、宮城県宮崎市で92年ぶりに口蹄疫の発生が確認され、その後の血清調査を通じ、隣接の高岡町の2戸、北海道木別町の1戸でも患畜、疑似患畜が確認され、最終的に計4戸740頭の患畜、疑似患畜が発生しました。(表1)

発生した宮城県及び北海道では、発生農場の飼養牛の全頭処分、発生農場周辺の移動制限及び周辺農場や関連農場の立入検査等、一連のまん延防止措置によりその後の発生は確認されず、最終的には北海道の移動制限が6月9日に解除されました。

一方、各県とも、この緊急事態を重視し、生産者や関係者への情報提供、情報収集、関連農場への疫学調査及び立入検査等、迅速かつ全国的な防疫活動に万全を期し、国内での清浄性が確認されました。

以上のような防疫対応により、平成12年9月26日(現地時間)、フランスのバリで開催された国際獣疫事務局(OIE)の「口蹄疫その他疾病委員会会議」で、日本の口蹄疫清浄国復帰に関する審査が行われ、日本の清浄国への復帰が承認されました。この決定により、日本の口蹄疫の清浄性が国際的に認められたことになりました。

最後に、今回の口蹄疫の発生以来、情報収集、検査等に御協力いただいた宮城県内の市町村、獣医師会、団体等各関係者に対し感謝申し上げますとともに、今後とも家畜防疫の推進に御協力・御指導願います。

(表1) 口蹄疫の発生状況

No.	発生場所	確認月日	飼養形態	飼養頭数
1	宮城県宮崎	3月25日	肥育	10頭
2	宮城県高岡	4月3日	肉用繁殖	9頭
3	宮城県高岡	4月9日	肉用繁殖	16頭
4	北海道本別	5月11日	肥育	705頭

(家畜改良衛生班長 佐々木和夫)

<p>正統の育ちと味</p>  <p>仙台牛銘柄推進協議会 仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ畜産課内 TEL.022(264)8450</p>	<p>WORLD トラクター</p>  <p>株式会社 五十嵐商会 仙台市若林区卸町五丁目1番地4 電話(022)236-2525(代表)</p>	<p>畜産振興の明日を担う地方競馬</p>  <p>地方競馬全国協会</p>
--	--	---

# ヨーロッパの畜産視察紀行

## 宮城県畜産会

この度、地方競馬全国協会の助成の下、9月11日から28日までの18日間に亘り、ドイツ・フランス・イギリスの3ヶ国における畜産事情視察研修の機会を得ましたので、その概要を紹介しします。

全国より16名の畜産関係者で構成された視察団一行は、成田空港から一路ドイツ・フランクフルト空港まで約11時間のフライトから始まり、酪農・肉用牛・養豚・がちょう飼育農家のほか、屠畜場・指導機関・試験場など29ヶ所の視察訪問を行ないました。EUでは2000年以降の共通農業政策(CAP)改革案が各国首脳会議で合意され、価格支持政策から所得補償政策への一層の転換を打ち出しています。更に、直接所得補償の交付条件に環境保護条件を取り入れ、不適格な生産者への支払いを減額・停止するなど環境対策の強化も図られています。

なお、これから3ヶ国の畜産情勢について記述する月齢や価格等は、国によって多少の差異があり、概ねの指標値であることを前置きして紹介します。

酪農経営は、一般にはホルスタイン種のほかドイツでは乳肉兼用種のシンメンタルを改良したフレックフィー種なども飼養されていました。(写真1) 経産牛1頭当たりの平均年間産乳量は、日本の7,200kg程度に対し、何れの国も6,000kg前後(1998年統計)です。しかし、訪問した酪農家では、8,000~9,000kgと比較的高い水準でした。

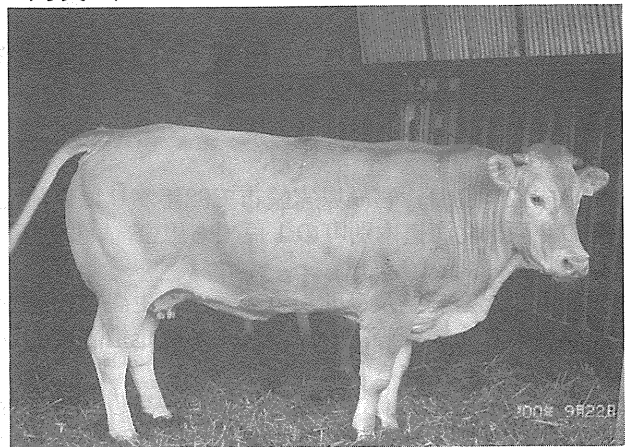
(写真1) 経産牛1頭当たりの平均年間産乳量は、日本の7,200kg程度に対し、何れの国も6,000kg前後(1998年統計)です。



乳価は乳脂肪・乳蛋白の成分格差によって35円前後で取引されています。EUでは、クォーター制度と呼ばれる日本で云う生乳生産調整があり、生産者にとって経営上大きな課題となっています。

肉用牛は、シヤロレー種を主体とした交雑種が多いようです。また、肉量が多く脂肪の少ない良質の肉生産を期待する反面、初産に4年も要する発育の遅いブロンドアキテーヌ種という品種にも出会いました。(写真2) 肥育牛は生後14~18ヶ月齢で枝肉重量300kg程度、1頭当たり約8万~12万円で取引されています。雄は去勢せずに肥育しています。

(写真2)

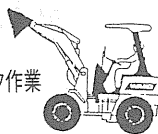


養豚は、唯一旧東ドイツ地域での視察でした。母猪はドイツエーデル種とランドレース種、雄はデュロック種やピエトレン種などの交配が多く見受けられました。(写真3) 肥育豚は120日齢で1頭当たり13,000円程度でした。

食肉製品は狂牛病(BSE)の問題もあり、生産者から製造販売者までのラベル表示がされているので、屠畜場で耳標のない家畜は食肉用には供されません。そのほかにも、環境保全を意識したエコロジー生産によるバイオミルクや野菜の販売などが普及し始めています。バイオ牧場の指定になるには、バイオ草地の所有と穀物の生産、畜舎スペースと放牧日数の制約など、もちろん抗生物質の投与も同様です。

KOMATSU

カンタン操作で、  
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社  
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
電話(022)(237)7441番代

●効能...粗飼料の食い込み、消化吸収促進  
悪臭防止、優良堆肥作り  
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母



株式会社 セイフ 東北営業所  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号  
TEL (022) 215-3112  
FAX (022) 213-7190

ビフィズス菌は

ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス®

ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市殿野坂五丁目1番3号  
☎(022) 384-5181

(写真3)



更には趣味の花壇にまで化学肥料の施用も禁じられており、生活すべてがバイオづくしというEUのガイドラインがあるようです。

飼料基盤の脆弱な日本とは対照的に、ほとんどの経営で飼料自給率80%以上という現状に生産コストでの太刀打ちには限界を感じざるを得ません。何れの生産者も何らかの問題を抱えながらも、悲観することもなく堂々と自己の経営を誇示しているし、歴史を重んじ、物を大切にする習慣が身につけていました。中には600年前の建造物を牛舎として使用している農家もいました。

トラベルにトラブルは付き物とはいえ、ロンドンのパディントン駅では、爆弾テロ騒動で全員避難命令が出され、緊急車輛も出動するなど一時騒然とした場面に遭遇しました。また、帰国に際しイギリス・スタンステッド空港からフランクフルト経由で成田空港到着の予定のはずが、濃霧によって出発が大幅に遅れました。その結果、乗り継ぎ便にも間に合わず、空港カウンターで7時間以上もキャンセル待ち行列の果てに、午後11時過ぎのタイ・バンコク空港行きに搭乗させられるなどのハプニングに一行は右往左往しながらも全員無事に帰国の途に就くことが出来ました。

なお、各視察先の実態は紙面の都合により十分紹介できませんでしたが、詳細についてお知りになりたい場合は筆者にお問い合わせください。

(経営指導課 山田 文彦)

## 「堆肥化施設設計マニュアル」 刊行のお知らせ

(社)宮城県畜産会

近年、ふん尿処理の問題は大きく様変わりし、有機質資源としての認識が定着してきました。有効に利用するための機械化・装置化がすすんで、大規模な施設も各地に生まれてきています。それだけ畜産が地域農業の中心的役割を担うことになってきたわけですが、同時に製品の品質、流通形態などの合理化が求められています。

(社)中央畜産会は、そのような状況の中で、合理的施設とはどんなものか、運営の形態はどんなものが求められているのか等を検討し、手引書を作る委員会を設けて検討を重ねてきました。より具体的にどういう装置で、どういう施設を作るか、そして作る場合はどの点に注意し、どの点を検討すれば低コストで出来るか等々ガイドラインとして示しています。

1. 図書名：堆肥化施設設計マニュアル
2. 装丁：A4版，本文258頁  
(施設規模算定体験CD-ROM，ふん尿処理施設・機械カタログCD-ROM付き)
3. 価格：3,500円(税込み)，送料340円
4. 内容：主な内容
  - 第1章 堆肥化の基本
  - 第2章 堆肥化施設機械の基本
  - 第3章 施設(建屋)の構造
  - 第4章 堆肥化施設の規模算定
  - 第5章 共同利用堆肥化施設の設置計画と管理運営
  - 第6章 堆肥の利用

お申し込み、問合せ先

〒981-1224

宮城県名取市増田字柳田379-1

社団法人 宮城県畜産会 本所

TEL：022 (382) 8133

FAX：022 (382) 8135

### 来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 TEL(263)7688

ORION

ともに前進 技術のオリオン

### 酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の  
おけるアフターサービスは  
オリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68 TEL(022)284-0691

宮城県本所 古川市新田字泉原59-4  
〒989-6226 TEL(0229)26-4330



### モーモーライフ2000開催報告

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

去る平成12年10月14日(土)に、酪農村・都市交流促進地域事業として、小学生の子供を持つ親子を対象に牛乳の栄養価値、牛乳料理等に関する知識を普及し、生乳がどのように生産されるのか、そのプロセスを見ていただき、さらには子供達にも楽しんでいただけるように実際に牛に触れながら体験し、日々の酪農家における生乳生産システムと酪農に対する理解を深め、牛乳製品をより多く生活に取り入れていただくことを目的とした「モーモーライフ2000(親子体験教室)」を開催しました。

200名の定員に対して1,200名の応募があり、高い競争率を勝ち抜き当選した親子は、蔵王酪農センターハートランドで、午前中は牛舎やふん尿処理施設を見学・乳搾りなどを体験しました。特に、牛の乳搾り体験は子供だけでなくお母さん達もどんどん参加していました。子供達は、哺育舎にいる子牛が気に入ったようで、かわいいとさかんに頭をなでていました。

午後には、えぼしスキー場レストハウスで、マスカルポーネの作り方・バターの作り方を体験しました。なかなかできない体験に参加者は、こんなに簡単にできるのかとびっくりした様子でした。バターを作るために生クリーム振って分離させる時は、とても楽しそうで、最後は作ったマスカルポーネを使っのティラミスの作り方を教えてもらいながら、おいしいティラミスを試食しました。

「朝8時から夕方5時までの長い時間だったが、実際に生乳の生産現場を見たり、牛に触れたりする機会がなかったので、非常に勉強になった。」「親子で参加できてとても楽しかった。」等アンケートの中にもたくさんあり、参加者から高い評価を得ることができました。

(販売課 泳浦まゆみ)

### ナチュラルチーズフェア(第14回みやぎミルクランドフェア)開催報告

宮城県牛乳普及協会

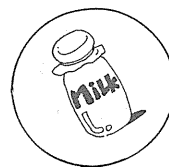
去る10月28日(土)、29日(日)の2日間、仙台市勾当台公園において「ナチュラルチーズフェア(第14回みやぎミルクランドフェア)」を開催しました。

本年度は、県内の農林水産業者・製造加工業者・商工関係団体等が一同に会して、これらの産業分野を横断した展示即売を行う「みやぎまるごとフェスティバル」共催イベントとして実施し、県民の牛乳・乳製品に対する信頼回復と正しい知識の普及により牛乳・乳製品の良さを再発見していただけるよう普及宣伝消費拡大を図りました。

会場では、毎日、宮城県産牛乳の空パックをお持ちいただいた先着100名様に乳製品プレゼントを実施したところ朝8時過ぎからお並びいただいたお客様もおり、オープンの10時には沢山のお客様にお並びいただきました。又、会場内は沢山の家族連れ等にご来場いただき特に牛乳料理大試食会やチーズ試食コーナー搾乳模擬体験コーナー、筋肉番付ゲームコーナー等は沢山の列をなしていました。又、ミルクロードツアー「み・る・る」の参加者を募集したところ沢山の応募もありました。

心配された天候も順調に推移して、会場内は両日とも大変な賑わいを見せ盛会裡の内終了することが出来ました。これも一重に関係団体の皆様のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

(高橋 弘美)



## 宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) ア ス カ ム 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
東 新 薬 業 (株) 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	ニチエーアグロ(株)東北営業部 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755

### 第11回全日本ホルスタイン共進会終了について

#### 宮城県ホルスタイン協会

乳牛の5年に一度の祭典、第11回全日本ホルスタイン共進会と19年振りの第3回全日本ジャージー共進会が11月2日から5日までの4日間、全国から約360頭の乳牛が参加し岡山県灘崎町で開催されました。会期中は約66万人の入場者で賑わい最高位賞には、ホルスタインは地元岡山県出品の経産牛が選出され、ジャージーは長野県出品の牛が選出されました。

宮城県の成績は表のとおりですが、今回第7部で優等賞2席(全国第2位)、第1部で1等賞入賞、2等賞も次回の栃木県につながる出品であり、今回の宮城県の全共出品資格者数を考慮すると大変な成績であったと思います。

ここに、出品者各位のご努力と、ご指導ご協力を賜りました各関係機関、皆様に深く感謝申し上げます。(業務課 太宰 仁)

#### 第11回全日本ホルスタイン共進会 本県出品牛成績一覧表

出品区分	各号登録番号	生年月日	血統	産地	出品者住所氏名	審査成績
1	ハンザワランドリシアルエル No.7080422	H11 11 9 16	クアッド7ールエルシーブルーET No.50376 ハンザワランドミスコーピオ No.5895481	県内産	丸森町 荒修	一等賞
4	ブラリアアケレスIN No.7068246	H11 11 2 11	ハイパーエチルカインター No.49546 ケーファームミックス No.6807816	県内産	丸森町 長谷部裕行	二等賞
7	エクセレントファームヘグマンボレットマックス No.6899997	H9 11 11 25	ボレットチャールズET No.395671C エクセレントファームヘグマンマックス No.5760798	自家産	一迫町 鈴木義博	優等賞二席
8	サウスファームマイナーロモント No.7087303	H9 9 8 30	ルツボアズビエスマケイター No.49481 サウスファームロモントデジション No.6093747	県内産	丸森町 半沢善幸	二等賞
9	ケエッチダンバーH No.6620569G	H8 11 11 25	ドリームオンヘロドET No.2152507A ケエッチシーオーダンバー No.6333681G	自家産	丸森町 半沢一良	二等賞
10	クインアポロエンペラー No.6527717G	H8 8 9 23	ロッキービューエンペラーET No.2138587A エンペラーグリーンアポロ No.5938442G	北海道産	河北町 鈴木富康	二等賞

### 平成12年度宮城県総合畜産共進会盛會裡に終了

#### 宮城県畜産会

宮城県畜産会主催による農林水産祭参加平成12年度宮城県総合畜産共進会は、去る9月6日～8日宮城県食肉流通公社で肉豚部門を、9月15日～16日みやぎ総合家畜市場で乳用牛、肉用牛部門とそれぞれ開催し盛會裡に終了しました。

本共進会の目的は家畜の改良と飼養技術の向上を通じ健全な畜産の振興を期するところにあります。今年度の出品もこれらの点を十分理解され地域の代表にふさわしい優れた出品畜でありました。

また、消費者との交流を深めるため農畜産物等の展示即売や抽選会など各種イベントも同時に開催し好評を得ました。なお各部の受賞者は下記のとおりです。

#### 《名誉賞受賞者一覧》

##### 乳用牛の部

第5区(生後21カ月以上24カ月未満)

一迫町 鈴木 義博

第7区(3才以上4才未満)

丸森町 半沢 善行

##### 肉用牛の部

第4区若雌の4(生後20カ月以上24カ月未満)

南方町 鈴木 清喜

第6区経産の2(生後4才以上)

涌谷町 横山 巖

第8区高等登録群

丸森町和牛改良組合

##### 肉豚の部

第1区ミヤギノ交雑豚

豊里町 佐々木 章一

第2区(第1区以外)

白石市 片岡 徳次  
(経営指導課 石川 正志)



各県の畜産会が選び出した全国約2000件の畜産物生産情報を、一堂に集めました。

今まで知らなかった珍しい畜産品や、こだわり畜産品の数々。産直品で食卓にひと花添えたい人から、産直品を作りたい人まで、とつても役に立つ情報が、インターネットでご利用になれます。

宮城県畜産会ホームページからのアクセスをお勧めします。

<http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

.....日本全国いいもの産直便.....

## 第40回仙台牛枝肉共進会終了報告

## 全農宮城県本部

農林水産祭参加第39回仙台牛枝肉共進会は、11月5日～8日の4日間仙台中央食肉卸売市場において開催され、盛会のうちに終了しました。

## 【チャンピオン牛一覽】

## (第1部)

黒毛和種去勢の部 (30カ月未満)

出品者：横山 清 (JAみやぎ亘理)

血統：父 茂勝

母の父 紋次郎

規格A5 枝肉重量 455.5kg

枝肉単価 6,005円

## (第2部)

黒毛和種去勢の部 (30カ月以上)

出品者：川口 公司 (JAみやぎ登米)

血統：父 安福165の9

母の父 菊谷

規格A5 枝肉重量 509.0kg

枝肉単価 5,099円

## (第3部)

黒毛和種雌の部

出品者：木村 政義 (JAみやぎ登米)

血統：父 第2茂波

母の父 安美金

規格A5 枝肉重量 377.0kg

枝肉単価 7,001円

(畜産課長補佐 佐々木和明)



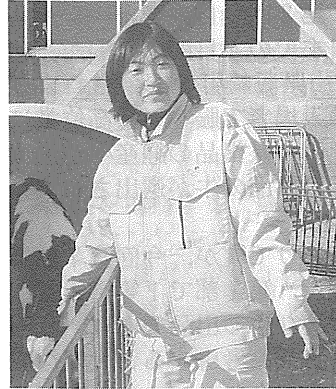
## 実践大学在校生OBの抱負

## 「先進で一步前進」

宮城県農業実践大学校

畜産学部1年

小野 仁美



「50日間なんて長い」と思い1年生の大きな行事の一つの先進農業体験学習が始まった。私は、非農家で畜産のことはわからないけど、この50日間てたくさんのことを学びました。

初めは、仕事と生活に慣れるのに大変でした。

搾乳もなかなかできなくて、かなりへこんだ時もありましたが、研修先の方に親切に搾乳方法を教えていただき少しずつできるようになりました。

この50日間で、一番印象に残っていることは、人間と動物の信頼関係を築けたことです。研修先で1頭だけ人になつかない牛がいて、結構手がかかる牛でした。そこで「これだ!」と思ったことは、人間と動物の信頼をはかろうと決めました。どうしたらなついてくれるか考えたところ「ムツゴロウ作戦」で行こうと決めて、その日から搾乳の時は必ずその牛の近くに寄りヨシヨシと触れ、次に牛に語りかける。会話の内容は「最近はどうよ調子は?」何も答えてくれなかった。牛にシカトされたりして4日間頑張ってみました。その結果、今まで搾乳させてくれなかったのが、おとなしく搾乳させてくれたのが何よりも感動しました。

他にもいろいろ思い出があり、いろいろお客さんが来て会うたびに必ず嫁の話題がありました。研修先のお父さんが言われた嫁に行く3つの条件は、次のとおり。

- ① 借金をきちんと返せるところ。
- ② でっかくて有名な酪農家。
- ③ 自分の意志をきちんと持っている人であるべし。

この3条件を基にいい酪農家の嫁に行こうと決めました。

いろいろなことが50日間で体験できていい勉強になりました。非農家でもやる気があればできるということが実習をして自信がついたし、自分も将来は、酪農関係の仕事に就きたいと思っているので、50日間学んできたことをいつまでも忘れないようにしたいです。



<畜試便り>

スーパーデュロック種豚造成のねらいと利用方法

宮城県畜産試験場

1. スーパーデュロック種豚造成のねらい

畜産試験場では平成6年からデュロック種豚の選抜試験を開始し、平成13年度の第7世代の検定、選抜で完成の予定です。スーパーデュロック種豚は一日平均増体量、ロース断面積および筋肉内脂肪含量の三形質を選抜形質とし、背脂肪の厚さは適度な厚さを目標としています。保水性、肉色および肉の軟らかさなどの肉質形質も測定しており、発育に優れ、食べて柔らかく美味しい肉質の種豚を目指しています。海外を含む種豚の改良目標は従来の産肉能力重視から産子数などの繁殖能力の増加や食べて美味しい肉質の改良へと変わってきています。すでに国内の豚肉の半分以上は輸入物により占められており、テーブルミートについても米国、カナダなどからチルド(凍結しない冷蔵品)の状態輸入されてきています。こうした海外からの輸入豚肉に対抗する上でも国産豚肉にはこれまで以上に品質に優れたものが求められています。畜産試験場では海外のさまざまな情報を取り入れ、増体能力に関しては従来の系統豚以上の能力を持ち、肉が軟らかく筋肉内に適度に脂肪が入った味のある美味しい肉質を持った種豚の改良を目指しています。これまでの経過は図1から4に示すとおり産肉能力、肉質形質ともに順調に改良が進んできており、試食しても非常に評価の高い豚肉になってきています。これは、国内では初めて肉質(保水性、肉色、肉の物理的特性、肉の化学成分、脂肪酸組成等)について詳しい分析を選抜の毎世代実施し、この測定値を使いながらBLUP法という新しい統計遺伝学的手法により種豚の遺伝的能力(子に伝える親の遺伝的能力)を科学的かつ正確に推定し、これにより選抜を行っているからです。

2. スーパーデュロック種豚造成の利用方法

このデュロック種豚(スーパーデュロック)の利用方法は次のように考えています。一つは現在、県内で銘柄豚として流通しているミヤギノポーク(宮城野豚:系統間三元交雑豚LWD)の止め雄(デュロック種:D)としての利用です。止め雄としてのデュロック種は現在、系統豚サクラ201を利用していますが、完成後はスーパーデュロック豚に置き換える予定です。スーパーデュロックを利用することで宮城県独自で造成した系統のミヤギノポークに占める血液割合が75%となり(現在はランドレース種ミヤギノだけの25%)、宮城県独自の銘柄化を進めることができます。

二つ目の利用方法としてはスーパーデュロック種豚を利用した新しい銘柄豚の普及です。スーパーデュロック種豚は発育、産肉能力はもちろん、肉質を最も重視した系統

豚です。従って純粋種で肉豚を作るのが最も理想的ですが、デュロック種は残念ながら産子数が少ないという欠点があります。そこで、産子数の多いランドレース種ミヤギノとの交雑で肉豚(LD)を作る方法や、LD雌豚にスーパーデュロック種雄豚を交雑して肉豚(LDD)を作る方法が考えられます。こうすることでスーパーデュロック種の優れた肉質面での能力を有効に利用することができます。昨年からスーパーデュロック種の造成試験と平行し、「スーパーデュロック種豚を利用した高品質豚肉生産に関する試験」に取り組んでいます。この試験では今年度、スーパーデュロック種純粋肉豚とLDDの他に、肉質に優れた品種といわれるパークシャー種(黒豚:B)純粋種、さらにLDBの4つの品種の肉豚の肥育試験を行う予定です。保水性、肉色、物理的特性、化学成分、筋肉線維等の肉質形質について客観的な比較調査のほかに、実際に消費者の方に試食して美味しさを評価していただく試食モニター調査も計画しています。

3. スーパーデュロックの維持方法

平成13年度に完成予定で進めているスーパーデュロック豚の維持は畜産試験場で行う予定です。維持の際には豚の交配は全て凍結精液を利用した人工授精で行うことを考えています。これまで豚の凍結精液は受胎率が低く、産子数も少ないことから実用化は困難と考えられていましたが、試験場では2年前から米国SG1社からプログラムフリーザーを導入し、凍結作業をコンピューター制御で行うことで凍結精子の融解後の生存率を高め、ひいては受胎率、産子数とも実用化する水準まで到達しました。現在、さらに、この技術を実確なものとするため試験を積み重ねています。維持の段階では種雄豚20頭から合計4,000本の精液を凍結保存する予定です。これが成功すれば、最低10年間は種雄豚を飼養せずに種雄豚と種雌豚を試験場から供給することができ、飼養管理面でのコスト削減が可能となります。また、維持時点での種雄豚の精液を保存できるため、集団の近交係数の上昇を抑制することが可能となり、集団の寿命を長く維持できます。

4. おわりに

県内では約600戸の養豚農家、養豚場が肉豚を生産しています。しかし、輸入豚肉の攻勢による豚価の低迷、環境三法がらみの糞尿処理施設の必要性など養豚を巡る情勢はかなり厳しい状況にあります。生産者にとっては高能力で飼いがやすく、消費者にとっては安全で美味しく喜んで食べてもらう豚肉を一日も早く供給できればと考えています。

(種豚家きん部原種豚班 鈴木 啓一)

図1. 一日平均増体量の育種価の変化

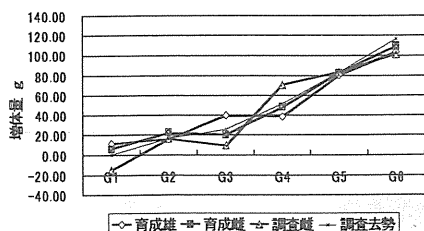


図2. ロース断面積育種価の変化

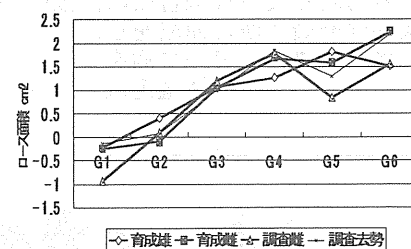


図3. 筋肉内脂肪育種価の変化

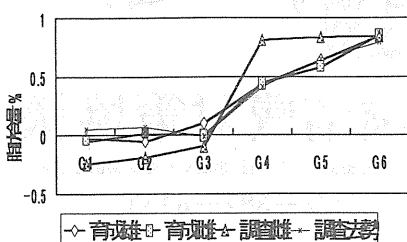
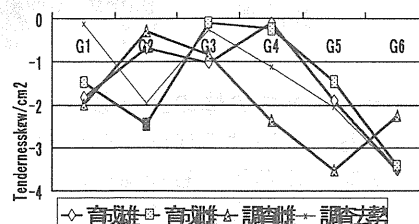


図4. Tenderness(肉の軟らかさ)の育種価の変化



<衛生便り>

牛ヨーネ病を再考する

仙台家畜保健衛生所

ヨーネ病はヨーネ菌という細菌によって起こる法定伝染病で、牛、綿羊、山羊、水牛、鹿などに感染します。ヨーネ菌は牛に感染すると、腸の粘膜で増殖し、糞便に排泄されます。感染から発症まで数年かかることから、感染牛の摘発が難しく、発症がみられなくともヨーネ菌は糞便中に排出されます。発症すると、間欠的な水様性下痢に始まり、やがて頑固な下痢が続き最終的には泌乳が停止し、著しい消瘦がみられ衰弱死します。本病には有効な治療法やワクチンが確立されていないため、感染牛の早期発見と速やかな淘汰が重要となり、発見が遅れると汚染が拡大されます。

全国的なヨーネ病の発生は年々増加傾向がみられ、昨年は北海道を中心に822頭の発生があり、5年前に比べ3倍以上の発生となっています。宮城県ではここ数年間発生がありませんでしたが、平成12年度に酪農家2戸に発生がみられ、いずれも北海道からの導入牛でした。検査時点では、下痢等の臨床症状は特に認められませんでした。その後の細菌検査により陽性牛と判定され、家畜伝染病予防法に基づき法令殺となりました。

本病の検査方法は病気の特徴から、月齢や年齢に応じて3つの方法を組み合わせて行っています。6ヶ月齢以上の牛の場合、血清を利用した免疫酵素測定法(エライザ法)による抗体検査、6ヶ月齢以下の場合、牛の尾根部皺壁に診断液を接種し、48時間から72時間後に判定します。しかし、これらの検査はヨーネ病感染初期の場合には反応が弱く、陰性になることがあるため、より確実な方法として糞便の培養検査(培養期間2~3ヶ月間)を行います。

本県では現在、県外からの導入牛を中心に着地検査を行っていますが、平成13年度から乳用牛の法令検査に従来の結核病とプルセラ病検査に加えて、ヨーネ病検査も行うことになりました。

本病の予防には牛を導入する際、導入先の農場がヨーネ病陰性農場であることを必ず確認することが大切です。たとえ陰性農場からの導入牛であっても、導入後の着地検査を忘れてはいけません。さらに着地検査でヨーネ病陰性であっても分娩前後から慢性的な下痢がみられるような場合には、獣医師または最寄りの家畜保健衛生所に連絡をし、ヨーネ病検査を行って下さい。決してヨーネ病を侮ってはいけません。  
(病性鑑定班 国井 洋)

<新人紹介>

「日々勉強中」

社団法人 宮城県畜産会

技師 芳賀 巧



皆さんこんにちは、(社)宮城県畜産会において久々に入会しました芳賀と申します。

出身は宮城県の米山町です。

宮城県を離れて7年ぶりに帰ってきましたが、仙台の町並みがあまりに変わっ

ていて、昔通った道が二車線になっていたり、田んぼしかなかったところが大きな町になっていたり、あまりの変わり様にビックリしています。

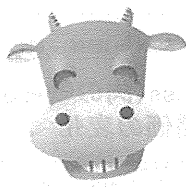
畜産会に入会する前は、(社)日本食肉格付協会、東京事業所に7年間お世話になっておりました。この経験を生かし宮城県の畜産の発展、経営の安定に少しでも貢献できればと思い入会しました。

現在私は、経営指導課で主に養豚を担当させて頂いております。宮城県の養豚経営の実態などまだ把握しきれていませんが、一生懸命頑張りたいと思っています。

入会して5ヶ月が経過しようとしています。事業の多さに呆気にとられ、自分の担当している仕事もおぼつかない状態です。

特に現場での経験が必要な時や、農家のニーズに合った仕事を進めていかなければならない事が数多くあり、その難しさを実感している毎日です。

今後は、担当畜種だけでなく他の事業にも携われる様自分を磨きました、諸先輩方のアドバイスを頂きながら一生懸命頑張りたいと考えておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133